

# 東日本大震災から一年 持続可能な社会に向けた復興へ

共催：東京大学グローバル COE プログラム「都市空間の持続再生学の展開」

日時：2012年 3月15日（木） 13：30 - 17：00

場所：日本学術会議 講堂

参加ご希望の方は飯田晶子（東京大学大学院・環境デザイン研究室）  
まで E-Mail でお知らせ下さい。 [iida@epd.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:iida@epd.t.u-tokyo.ac.jp)

なお、定員を超えた場合などは参加をお断りすることがありますが、  
特に返信がない場合は参加可能とご判断いただき、当日会場へお越しください。

## プログラム

挨拶 13:30 - 13:35

日本学術会議環境学委員会副委員長  
東京大学大学院工学系研究科 教授 花木 啓祐

第一部 「報告：東日本大震災復興の経緯と課題」 13:35 - 14:05

1. 東日本大震災復興の経緯と現状  
日本学術会議会長  
東京大学大学院工学系研究科 教授 大西 隆

2. 復興計画の特質と課題：  
日本学術会議環境学委員会委員長  
東京大学大学院工学系研究科 教授 石川 幹子

3. 基礎自治体の復興の現状を踏まえた課題  
—岩手県陸前高田市を事例として—  
日本学術会議連携会員環境計画・政策分科会委員  
東京大学大学院工学系研究科 准教授 羽藤 英二

第二部 「持続可能な社会に向けた復興」 14:05 - 15:45

1. 論点の提示：持続可能な社会に向けた復興——環境学の視点から  
日本学術会議環境学委員会副委員長  
東京大学大学院工学系研究科 教授 花木 啓祐

2. 放射性物質の循環  
日本学術会議 環境学委員会委員  
石川県立大学生物資源工学科研究所 教授 西澤 直子

3. 社会の要請を先取りした産業・技術の展開  
日本学術会議環境学委員会環境科学分科会委員  
東北大学原子分子材料科学高等研究機構  
教授（多元物質科学研究所兼務） 栗原 和枝

4. 生物多様性・生態系からのグリーン・インフラストラクチャの形成  
日本学術会議環境学委員会・自然環境保全再生分科会委員  
東京大学大学院農学生命科学研究科 教授 鷺谷 いづみ

5. 復興に向けた有害化学物質のリスク  
日本学術会議環境学委員会 環境リスク分科会委員  
名古屋大学大学院医学系研究科 教授 那須 民江

6. グローカルな視点からみた“人”の復興  
日本学術会議 環境思想・環境教育分科会委員  
北海道教育大学教育学部 教授 氷見山 幸夫

休憩 15:45 - 16:00

第三部 「パネルディスカッション：持続可能な社会に向けた復興」 16:00 - 17:00

コーディネーター：日本学術会議環境学委員会  
東京農業大学名誉 教授 進士 五十八  
パネリスト：（花木、西澤、栗原、那須、氷見山、羽藤、石川）

「結び」

